学校番号	216

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂　地学基礎（第一学習社）						
副教材等	改訂　ネオパルノート　地学基礎（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・宇宙の誕生から現在の地球に至るまでを時間的・空間的な広がりの中でとらえ、理解できるようにわかりやすい授業を行います。
・地球や地球を取り巻く環境に対して、目的意識を持って観察・実験を行い、地学的に探求する能力と態度を育てます。
・地学の基本的な概念や原理・法則を映像や実習を通じて理解を深めます。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探求する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中でとらえるなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見出し、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するともにし、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	小テスト 実験レポート ワークシート	小テスト 実験レポート ワークシート 定期考査	小テスト 実験レポート ワークシート 定期考査	小テスト 実験レポート ワークシート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	宇宙における地球	宇宙の構成	○			○	a:宇宙や太陽系の誕生に関心を持ち、惑星の特徴を知ろうとする意欲を持っている。 b:銀河が分布している宇宙の広がりと構造を把握し、恒星としての太陽の構造と進化を考えることができる。 c:宇宙や天体を探る実習・観察・探究活動を通じて科学的な見方、考え方を理解・習得できている。 d: 宇宙や天体を探る実習・観察・探究活動を通じて得られた結果を関連付けて整理・理解されている。	小テスト 実験レポート 観察レポート ノート 定期考査
		太陽		○	○	○		
		太陽系の中の地球	○			○		
2学期	活動する地球	地球の姿	○	○	○		a: 地球の内部構造や地震、火山活動について興味を示し、その仕組を知ろうと意欲的に取り組んでいる。 b: 地球の大きさや地震の震源の位置を求めたり、内部の層構造の状態や構成物を説明・判断することができる。 c: 地震や火山活動の原因は地球内部に原因があることを実習を通じて調べることができる。火成岩の観察、実習を通して鉱物や組織を調べ、分類することができる。 d: 地球の大きさや特徴について理解し、内部の層構造やプレート運動、地震のメカニズムなどについて整理されて理解している。	小テスト 実験レポート 観察レポート ノート 定期考査
		火山活動と地震	○	○		○		
3学期	移り変わる地球	地層や岩石と地質構造		○	○		a:地層が形成される仕組みや地質構造から地殻変動を推定することや大気と海洋について関心・興味を示す。 b:地層や岩石の観察・実験から地層が形成される仕組みにつ	小テスト 実験レポート 観察レポート ノート 定期考査
		地球環境と生物界の変異	○	○		○		

	大気と海洋	地球の熱収支		○		○	いて考えることができ、地球の歴史を推測することができる。日本の自然環境が生活と深く関わっていることに関連つけて考えることができる。 c: 地層や岩石の観察・実験を通じて過去に起こった出来事やその形成に関することを調べることができ、地球の歴史を推測することができる d: 地層や岩石の観察・実験から地層が形成される仕組みを理解できる。また、地球環境の移り変わりと古生物の変遷が関連付けられて整理・理解できている。さらに、地球規模の自然環境の変化が科学的に理解できている。	
		大気と海洋の運動	○					
	地球の環境	地球環境の科学	○		○			
		日本の自然環境		○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。